

# 台風6号が沖縄本島地方・先島地方へ襲来

8月1日から3日にかけて、沖縄本島地方および宮古・八重山地方に接近した台風6号は、いったん沖縄本島と宮古島の間を通過後、進路を東に変え、再び沖縄本島地方に襲来しました。合計で約70時間。沖縄本島地方を暴風域に巻き込んだ台風は、当社設備に甚大な被害をもたらしました。

当社は、社員、関係会社、協力会社総勢1,800人の最大要員態勢で早期復旧を目指し、昼夜継続して作業を行いました。

## ●経路および特徴

7月28日フィリピンの東で発生した台風6号は、日本の南で急速に発達しながら沖縄地方に接近、31日には南大東島の南で中心気圧945hpa最大風速45m/sの大型で非常に強い勢力となりました。

その後、西に進み沖縄本島地方と宮古島地方、大東島地方を同時に暴風域に巻き込みながら、8月1日から3日にかけて沖縄本島と宮古島の間を通過。その後も宮古島の東会場でほとんど停滞し、4日には進路を東に変えて、再び沖縄本島地方および大東島地方に襲来。約1週間にわたり台風の影響を受けることとなりました。



## ●設備被害状況

発電：被害なし  
送電：被害なし  
変電：被害なし  
配電：

電柱折損 7本  
電線断線[高圧] 258条・スパン  
電線断線[低圧] 129条・スパン  
柱上変圧器破損 56台  
高圧バインド、碍子破損 2,229箇所

## ●復旧要員派遣

### 事前派遣

- ①周辺離島等への事前派遣 39名
- ②沖縄本島への事前派遣 1名

### 事後派遣

- ①沖縄本島への事後派遣 23名
- ②周辺離島への事後派遣 10名

最大停電戸数：215,800戸(8/2 10:00)

## 長時間の暴風で被害が拡大

今回の台風6号は大型で勢力が非常に強く、速度が遅いことが特徴で、配電設備が暴風下で長時間ストレスを浴びた結果、広範囲かつ多数の被害が発生しました。

また、2度にわたり長時間暴風域に入ったため屋外での復旧作業ができず、停電が長引くこととなりました。

なお、被害状況としては、過去10年間で比較して停電戸数で2018年台風24号に次ぐ2番目、最長停電時間で1番目の166時間53分となりました。

## ●過去10年の台風による停電

	最大瞬間風速	暴風域の時間	電柱折損本数	碍子等破損
1	2018年 台風24号 250.7千戸	2023年 台風6号 166時間53分		
2	2023年 台風6号 215.8千戸	2018年 台風24号 108時間49分		
3	2018年 台風8号 107.3千戸	2015年 台風21号 81時間14分		

## ●台風24号(2018年)との比較

	最大瞬間風速	暴風域の時間	電柱折損本数	碍子等破損
2018年台風24号	60m/5前後	約27時間	17本	約2,991箇所
2023年台風6号	60m/5前後	約70時間	7本	約2,229箇所

## ●復旧作業の様子



復旧を妨げる樹木の撤去作業



高圧配電線の復旧作業



昇柱での作業